



震災・復興資料の 収集・アーカイブズ化の 現状と今後の課題

日時：平成30年**11月10日**（土）午後1時～5時
会場：郡山市民交流プラザ大会議室（郡山ビッグアイ7階）
福島県郡山市駅前二丁目11-1 ※専用駐車場はございません。

詳しいプログラムはこのチラシの裏面で！

事前申し込み先

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

申し込み方法

こちらの申し込みフォームからどうぞ！

メール fure@adb.fukushima-u.ac.jp
Tel/Fax 024-504-2865



参加無料！！
事前申し込みを
お願いします

主催：日本学術会議社会学委員会東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題
検討分科会

共催：国立大学法人福島大学
文科省科学研究費基盤研究（A）
「震災アーカイブズを基盤とする複合型プラットフォームの日本国モデル構
築」研究プロジェクト

後援：福島県



公開シンポジウム プログラム

司会 岩井 紀子（日本学術会議連携会員、大阪商業大学総合経営学部教授）

1. 挨拶 13:00～13:10

遠藤 薫

（日本学術会議第一部会員・社会学委員会委員長、学習院大学法学部教授）

中井 勝己 福島大学学長（予定）

2. 趣旨説明 13:10～13:15

吉原 直樹（日本学術会議連携会員、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授）

3. 報告 13:15～14:15

報告1 山川 充夫（日本学術会議連携会員、福島大学名誉教授）

東日本大震災学術調査研究とアーカイブズ –日本学術会議『提言』から–

報告2 菊地 芳朗（日本学術会議連携会員、福島大学行政政策学類教授）

福島県における震災アーカイブズの現状と可能性

報告3 喜浦 遊（大熊町）

震災を契機とした大熊町アーカイブズの取り組みについて

（休憩 14:15～14:20）

14:20～15:20

報告4 瀬戸 真之（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授）

震災・復興に関わるアーカイブズ構築の目的と課題

–収集現場から見えてきたもの–

報告5 平川 新（宮城学院女子大学学長）

文化財としての古文書、アーカイブズとしての歴史資料

報告6 大月 規義（朝日新聞社編集委員）

震災報道 7年余の逡巡～事実を伝え教訓を残す責任と限界～

（休憩 15:20～15:25）

4. 討論 15:25～16:05

青柳みどり（日本学術会議特任連携会員、国立環境研究所主席研究員）

増田 聡（日本学術会議連携会員、東北大学大学院経済学研究科教授）

5. 総合討論 16:05～16:55

6. 閉会挨拶 16:55～17:00 初澤 敏生

（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター長）

